

(6) 市の男女共同参画について（自由意見）

⑥ 加古川市の男女共同参画について、ご自由に意見をお書きください。

有効回収数 1,245 のうち、自由意見への記述があったのは 142 であり、全体の 11.4%にあたる。
記述内容が多岐にわたる意見もあることから、これらをテーマごとに分類して再集計した結果、意見の延べ件数は 222 であった。

これらの意見を、まず大分類として 9 分野とし、必要に応じてこれらの下に小分類をおき、それぞれ類似した意見をまとめた。

【自由意見の大分類】

- (1) 市の施策について ----- 55 件
- (2) 男女の平等感について ----- 33 件
- (3) 地域・社会について ----- 21 件
- (4) 広報・啓発活動の推進について ----- 19 件
- (5) 就労について ----- 16 件
- (6) 仕事と生活の調和について ----- 11 件
- (7) 結婚観や家庭生活について ----- 6 件
- (8) 教育について ----- 3 件
- (9) その他 ----- 20 件

(1) 市の施策について

大分類	件数	内容	主な意見
市の施策について	55	講座やセミナーの開催	<p>いろいろなセミナーなど開かれていますので、とてもよい。</p> <p>無料で受けられる講座はとても助かる。</p>
		女性の採用・登用促進	<p>重要なポストに女性がつかないのが現状。役所が見本となって優秀な女性には役職をつけるべき。</p> <p>女性市長誕生を期待。</p> <p>副市長か部長に女性を登用したらどうか。</p> <p>市議会議員の女性枠の数を多くする。</p> <p>市役所の管理職の女性の割合を増やすなど、決定する権限を持つ女性を増やす。</p> <p>行政及び地域全体で、女性の意見を取り入れると共に、支援していく体制づくりが重要。</p>
		保育や介護に関するサービスの充実	<p>母親は子どものために自分を犠牲にして当たり前といった風潮があるが、環境が整っていなければ頑張りようがないことがある。</p> <p>子育て支援がキーワード。保育と医療支援の充実を。</p> <p>無償や安価な代金でちょっとした用事(例えば塾への送迎や病院へ送迎など)のお願ひできるサービスがあれば嬉しい。</p> <p>老人をかかえた人が働けるように、市がサポートをしてくれる体制を。</p> <p>働きたくても子どもが小さく、病気になった時の預け先がない。</p> <p>保育所、学童保育の終了時間が早すぎる。電車で市外に働きに行っている人は通勤時間を考えると余裕はない。</p>
		男女共同参画センターについて	<p>男女共同参画センターや、その活動内容等があまり認知されていないと思う。</p> <p>もっと分かりやすく誰でもが気軽に利用できるように、してほしい。</p> <p>名称も、堅苦しくなく、親しみやすい名前に変更してはどうか。</p>
		企業等への啓発、法整備	<p>男性が育児休暇を取ると出世できないという意識や会社の制度をなくす取り組みをしてほしい。</p> <p>男性も家庭に協力できるよう労働時間の見直しが必要。働くことも大事だが、子供を育てることはもっと大事。</p> <p>企業・雇い主への啓発や理解がないと難しい。労働条件、社会環境がそれを許していない状況が多いのが現状では。</p> <p>行政が企業に働きかけ、または法でしばっていかなければならないのではないかと。</p> <p>同等の労働に対して差をつける経営者や上司は厳しく罰しなければならぬ。</p>
		その他	<p>加古川行政の活動があまり見えてこない。積極的な行政を。</p> <p>女性を全面的に主役に底上げすることが加古川市の発展そのもの。</p> <p>努力目標を決め推進するのではなく、もっと自由に参画できるような環境をととのえるべき。</p> <p>市レベルで推進していけるものか疑問。</p> <p>政治家や公務員の意識改革が最優先。</p> <p>女性市議や、市の職員に「この制度があれば子供を産む」と思える制度を考えてもらい、実際に制度利用してもらおう。</p> <p>職場、行政の場で男女平等と言いつつなかなかそのような扱いは受けられない。</p> <p>女性の社会進出を推進すれば少子化問題は具体的にどう解決するのか。両方同時に解決することなど出来ない。</p> <p>「取りあえず女性を」という考えだけで女性管理職を増やすという行為は「尊重」ではなく、ただの「担ぎ上げ」。</p> <p>誰もが必要とするようなサービスを充実させることが大切。</p>

(2) 男女の平等感について

大分類	件数	内容	主な意見
男女の平等感について	33	社会の慣習やしきたりの見直し	まだまだの感が強い。長期的視野が必要。
			家事、育児は女性という、女性の意識を変えることが大切。
			自分は女だからとの逃げ口上はやめてほしい。一人の人間として責任を持って行動してほしいと思う。
			男女平等の社会も必要だと思うが、女は女の特性、男は男の特性があると思う。
			働きたい女性と主夫をしたい男性のカップルが、変に思われぬような考え方を広げたらどうか。
			多くの企業が男性優位。
			親世代の意識改革が大切。
			男性優位の考えを多く持っている高齢の方にどう理解してもらうか。
	性別に関係なく、お互いが理解し合い協力できる環境、考え方	男女は大きくとらえたと平等だと思うが、やはり男の役割、女の役割の区別はあると思う。	
		女性にしか子供は産めないのだから同じというわけにはいかない。	
		男でなくてはできないこと、女でなくてはできないこと。そのことを認めつつ互いを尊敬、尊重しあう。	
	女性の採用・登用促進	女性のリーダーが育つと良い。	
		個人の意見や適性を無視して単純に女性の管理職を増やすやり方は賛同しかねる。	
	労働時間や休暇制度など働き方の見直し	法的、制度的にも平等に、全く同等に考えるべき。(例えば生理休暇、男女ともに病欠でよい)	
	その他	介護、子育てはやはり女性の働きが期待される。	
		平等、平等と、権利を主張するなら義務も果たすべき。	
		男女の違い、差別をされていると職場で感じた事がない。	
		女性に男性と同じように働けというのでは成功しない。	

(3) 地域・社会について

大分類	件数	内容	主な意見
地域・社会について	21	個人の生き方を選択できる社会	一人一人の生き方、考え方を尊重してほしい。
			能力のある女性は社会のトップに出て働きたい気持ちがあるだろうが、一般の女性はそこまで求めていない
			男女平等というより普通の生活を楽しく過ごせる方法を考えていきたい。
			個々が自由に選択できる社会が望ましいのではないか。
		個人の能力に適した場所での活躍	男女均等というのが適材適所があり、男性と同じことができる女性もいればできない人もいる。
			各個人一人一人に適性があり、「男はこう」「女はこう」と考えている事がすでに大きなポイントを見違っている。
			男女共同参画を主にするのではなく、それぞれの個人の能力を尊重すべきである。
			男女平等は基本だが、個々の適性に合った仕事を選択するなら職種により性差が出てもおかしくない。
			男女関係なく有能な人物が幹部になるべきであり、結果的に全員が男性であっても全員が女性であっても問題ない。
		女性が活躍できる社会づくり	各町内会や自治会の役員にもっと女性の参画が必要。
			今後の人口減少、生産年齢人口の減少を考えると、女性の社会での活躍が期待される。
		男性の地域活動への参加	男性もカルチャー、スポーツ、地域行事への出席活動を。
		その他	女性はPTA活動や自治会の集りなどのたくさんの負担があり、男性の協力をより強く求めていきたい。
町内会レベルまで活動者を広げないと、広報だけでは前進しないと思う。			

(4) 広報・啓発活動の推進について

大分類	件数	内容	主な意見
広報・啓発活動の推進について	19	積極的な周知活動	取組みの認知度が低いようであれば、広報誌やホームページ、街頭ポスターなどで積極的に啓発していくことが必要。
			市からの広報PRだけでは不十分。
			地域で行われるイベントにブースを出して取組みの紹介を行うのも有効。
			調査結果を「広報かこがわ」にでも載せてほしい。
			定期的に活動内容を公表してほしい。
	男女平等教育	男女共同参画についての教育は、ずいぶん行き渡っていると思う。	
		学校での教育も大切だが、企業など大人にも必要。	
		企業の理解があつてこそ実現できる。	
		「男女間で日々のお互いの努力を優先する教育」。	
	暴力の根絶に向けた広報活動	上層階級と思われる女性の考え方よりも、「地」についた地域の女性の考え方を啓蒙していくべき。	
		DV予防教育を実施してほしい。	

(5) 就労について

大分類	件数	内容	主な意見
就労について	16	女性の就業の機会や待遇の改善	すべての女性ではなく「働きたい女性に働く機会を」提供できることが重要
			子供がいるのに正社員(フルタイム)で雇ってもらえるのか不安。
			子供がいる女性に対しての仕事が少なすぎる。
			女性パートの社員化を。
		育児休業、介護休業の男女双方の利用促進	育児休暇のとりやすさが必要。
		育児終了後の再就職の機会や待遇の改善	再就職する際に安定したそれなりの収入が得られるのであれば問題ないが、今の社会では実現しやすいとは思わない。
		企業内の意識改革	職場の方針や育休などの制度が整っていても、その上司などの理解が十分ないと意味がない。
		多様な保育環境の充実	小学校の学童保育や公立幼稚園での預り保育が十分ではない。
			ボランティアで子どもの宿題等みてる自治体があるようだ。是非そういうものを企画してほしい。
			保育園や児童クラブの活動をもう少し充実させてもらえるとありがたい。
		その他	思春期を過ぎるまでは、親が子供の教育を積極的に行なう方がいい。働きながらというのは無理だと思う。
			そもそも女性は働きたいと考えている人が多いのか。 働きたいと考えている人は働きにくいと感じているのか。

(6) 仕事と生活の調和について

大分類	件数	内容	主な意見	
仕事と生活の調和について	11	仕事と家庭生活の両立ができる環境づくり	赤ちゃんを保育園に預けパートに出ておられる女性を見ると、女性の大変さが痛いほどわかる。	
			男女平等に働くというより、それぞれの特性を生かして無理なく仕事、家庭生活ができたらいい。	
			職場の育児中の女性に対する対応など、働きに行くことが難しい。	
			男性の理解と、社会的なバックアップが必要。	
				「仕事」と「子育て」の両立は、男女で仕事を別にしない限り両立できるとは思えない。
	多様な働き方の普及	男女共に協力して生活できるよう、働き方の多様性をアピールすべき。		
		就業時間についても考え方を見直す必要がある。		
	男性の家事・育児参加	育児にも男性の参加が増えてきているが、もっと協力できる社会が望ましい。		
男性にとって安心して参加でき、査定がアップするなど特典があればもっと参加してくれる人が増えるのではないか。				
		男性の長時間労働を見直し、家庭も職場も楽しめる社会になってほしい。		

(7) 結婚観や家庭生活について

大分類	件数	内容	主な意見
結婚観や家庭生活について	6	夫婦の役割分担	家庭も女性の力が必要なので、家庭を主においてほしい。
			夫婦と社会制度の協働で子育てを行い女性の環境を整えるべき。
		女性は仕事も家事もしなくてはならず負担が増えるばかり。男性の意識改革と労働環境の改善を。	
		ライフサイクルと仕事について	女性は出産という素晴らしい特権がある。その一番いい時期をのがし、気がついた時は遅い。

(8) 教育について

大分類	件数	内容	主な意見
教育について	3	学校教育	学校でいくら教育しても同じだと思う。その子の親の考えが子供に伝わる。
			幼い頃からの教育が必要。
			学校での教育に期待したい。

(9) その他

大分類	件数	内容	主な意見
その他	20	その他の意見	最近は、若い女の人でも自分の意見をはっきりと言う傾向になってきた。我々の時代とは違い、やりにくいなと感じるが仕方がない。
			男女共同参画については、人間として男女平等だと思うので、このような言葉こそ差別だと思う。
			実際の社会ではまだまだ。温度差を感じる。